

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪氷対策作業		協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	
作業名称	雪氷対策作業(梯団除雪作業) 荘川Uターン路転回	作業手順書	作成年月日	令和3年11月1日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	除雪専用車×3台、湿塩散布兼除雪車×2台、標識車(雪氷巡回)×1台		協力会社社務確認	自筆サイン
			元請確認	自筆サイン
使用工具 機器 (大きさ等は具 体的な寸法を記 す)			改正年月日	令和7年1月14日
			作業順序	
保護具	ヘルメット、チョッキ、手袋、警笛、安全帯		1	雪氷本部からの作業指示
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	大型免許、普通免許、玉掛け、ホイストクレーン		2	作業前車両点検
			3	梯団除雪作業
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	大型運転手5人、運転助手5人、標識車運転手1人、標識車助手1人		4	後片付け
	合計 12名		5	作業終了連絡
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和 年 月 日	6
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)			7
				8
				9

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスク レベル	ミス・ ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
本部からの作業指示									
(基地連絡員)	作業箇所確認	どこのICまでの作業指示か? 行先確認							
	作業内容確認	除雪のみ・兼用・積み込み量・台数の確認							
	作業場所の状況確認	路面状況・渋滞・事故等の交通状況の確認							
作業前車両点検									
(全員)	車両点検	機械、灯火装置等の動作確認							字幕は 作業中 追越禁止 とする
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
梯団除雪作業	Uターン門扉を使用して反転	車両通行時の接触	除雪車が門扉を通過する前にリモコン操作を行い開閉途中で車両と接触する		△	△	△△	3	安 開閉作業(リモコン操作)を行う人員を定める ① 5台梯団+後尾警戒車の場合 (本線)1番車 リモコン操作(解除)後、通過 (本線)2番車 3番車 後尾警戒車 通過 (ランプ)4番車通過 (ランプ)5番車 通過後 リモコン操作(閉鎖) ※ランプ車が通過するまで門扉はあげた状態 ② 3台梯団+標識車(雪氷巡回車)の場合 (本線)1番車 リモコン操作(解除)後、通過 (本線)2番車 3番車通過 (本線)標識車 通過後 リモコン操作(閉鎖) ※標識車(巡回車)は、閉鎖完了後 基地へ帰着するものとする
後片付け									
(全員)	車両の確認	故障、異常個所の確認							
	車両の格納	次作業に備え庫車内に格納	車両を移動する際に構造物、他の車両に接触する	△	○	△○	2		移動前に車両周りの確認を行い、バックする際は誘導員の誘導に従いバックする。
作業終了連絡									
(基地連絡員)	作業終了連絡	異常、故障の有無、剤の残数の報告							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し庫内に保管する事